

Reference

INDEX

- 37 グループの歩み
- 39 グループ一覧
- 40 表紙のデザインと
グループシンボルマークについて

グループの歩み

私たちが創業から一貫して変わらずに取り組んできたテーマ。それは、「資源の有効利用」と「環境保全」です。

Stage 1

現在ほど「リサイクル」や「環境問題」に社会的関心が向けられていなかった時代に、写真現像工程からの銀のリサイクルを事業化しました。また、環境保全事業にも新たに参入しました。

1952

大阪市に朝日化学研究所として創業
写真定着液からの銀のリサイクル事業を開始。高度成長にともない写真産業が大きく発達し、写真感光材料用銀に関連する業界において、銀の需要が増大した。

1964

株式会社に改組

1968

神戸市東灘区に神戸工場建設
富士写真フィルム(株)(当時)へ銀納入を開始

1969

業界に先駆けて、独自開発による電気分解式の銀のリサイクル装置を導入。効率的で高純度な銀のリサイクルが可能になった。

1971

「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」施行
廃棄物排出事業者に対して、廃棄物の排出抑制と適正な処理が義務付けられる。
富士写真フィルム(株)写真処理環境保全システム(当時)の指定業者となる。

1973

神戸市より産業廃棄物処理業の許可を取得
日本で最初に、有害な写真関係廃液処理のライセンスを受ける。当時の社員数は約20名程度

1974

福岡営業所を開設。以後、全国へ営業所・工場を展開

1975

電解式小型銀回収装置「PLATA」の製作を開始

1978

神戸市東灘区に本社社屋を竣工
環境計量証明事業所の登録

1981

目標管理・提案制度の始動
デジタルカメラの実用化が発表される。

Stage 2

技術革新による市場の変化に対応し、貴金属リサイクル事業の多角化を進めました。

1982

デンタル分野からの貴金属リサイクル事業を開始
写真廃液処理市場の縮小を予見し、貴金属リサイクル事業の多角化を決断した。

1986

電子材料、宝飾分野からの貴金属リサイクル事業を開始

1988

メッキ用化成品製造販売を開始

1992

特別管理産業廃棄物処理業許可を取得

1993

日本の環境政策の根幹となる「環境基本法」の制定

Stage 3

国内のお取引先の海外事業展開にともなう、現地での貴金属スクラップ回収のニーズにお応えするために初めて海外拠点を開設し、株式市場への上場も果たしました。

1994

マレーシアに現地法人 Asahi G&S Sdn.Bhd. を設立

1997

関係会社5社を吸収合併し、「アサヒプリテック株式会社」と社名変更

1998

本社機能を神戸・三宮に移転
テクノセンター開設

1999

店頭市場に株式公開
テクノセンターでISO9001の認証を取得

2000

テクノセンターでISO14001の認証を取得
東京証券取引所市場第2部に株式上場

Stage 4

廃棄物処理に関するお客様ニーズの多様化に対応するために、M&Aを通じて取り扱い品目の拡充とサービス提供エリアの拡大を進めました。

2001

(株)三商・(株)大門・(株)エコマテリアルの3社を子会社化

2002

東京証券取引所市場第1部に昇格
創業50周年

2003

中国に現地法人上海朝日浦力環境科技有限公司を設立

2004

日本ケミテック(株)を子会社化

2005

(株)塩入建材を子会社化
(株)大門を日本ケミテック(株)に合併

2006

(株)イヨテックを子会社化
錦興産(株)を子会社化
(株)エコマテリアルを日本ケミテック(株)に合併
韓国に現地法人韓国アサヒプリテック(株)を設立

2007

東京本社を東京都千代田区丸の内に設置
錦興産(株)を合併
(株)太陽化学を子会社化
(株)サニックスより環境事業の一部を譲受け、北九州事業所を開設

2008

ジャパンウェイスト(株)を設立
富士炉材(株)を子会社化

Stage 5

事業を通じて社会に貢献する「エコビジネスのリーディングカンパニー」をめざして挑戦を続けます。

2009

アサヒホールディングス株式会社が新規上場
持株会社制へ移行
JWガラスリサイクル(株)の事業開始

2010

中国に合弁会社江門朝日励福資源综合利用有限公司を設立
エコマックス(株)を子会社化
ジャパンウェイスト(株)横浜事業所を開設

アサヒホールディングスグループ一覽

アサヒプリテック株式会社

(本社：兵庫県神戸市、東京都千代田区)

貴金属リサイクル事業

エレクトロニクス、薄型パネルディスプレイ、触媒、歯科、宝飾、情報機器、写真などの分野で用いられる貴金属・レアメタルを回収、精製し、リサイクルを行っています。

環境保全事業

廃棄物処理その他の環境保全事業を行っています。

<海外拠点>

●Asahi G&S Sdn. Bhd. (マレーシア)

貴金属リサイクル事業

電子部品メーカーおよび現地の宝飾メーカーなどから貴金属を回収し、現地工場でのリサイクルを行っています。

ジャパンウェイスト株式会社

(本社：兵庫県神戸市、東京都千代田区)

環境保全事業

1. 廃油を燃料化しています。
2. 汚泥等をセメント原料化しています。
3. 建築廃木材をバイオマス発電用燃料に再資源化しています。
4. 産業分野から排出される廃プラスチックなどの産業廃棄物を効率的に選別・破砕処理しています。
5. 半導体製造装置・各種研究設備に付着する有害廃棄物を洗浄処理しています。

また、ジャパンウェイスト傘下の関係会社と一体となり、廃棄物処理その他の環境保全事業を広範に行っています。

<関係会社>

●日本ケミテック株式会社 (本社：埼玉県川口市)

環境保全事業

1. 半導体・電子部品メーカーなどから排出される産業廃棄物を、中和処理および生物処理により無害化処理しています。
2. 各種食品製造業や外食産業などから排出される食品系の有機性廃液・汚泥を生物処理し脱水・減量化しています。また、有機系汚泥からの堆肥生産をしています。

●JWガラスリサイクル株式会社

(本社：東京都江東区)

環境保全事業

板ガラス・ガラス瓶の再資源化を行っています。

●富士炉材株式会社 (本社：東京都大田区)

溶炉改修工事

硝子製造炉、ごみ焼却炉などの解体および定期修繕工事を行っています。

●上海朝日浦力環境科技有限公司

貴金属リサイクル事業

中国への進出が相次ぐ日系ITメーカーを中心に、貴金属を回収し、現地工場でのリサイクルを行っています。

●江門朝日勸福資源综合利用有限公司

貴金属リサイクル事業

勸福実業(江門)貴金属有限公司との合併により、触媒などの分野から貴金属を回収し、広東省の現地工場でのリサイクルを行う予定です。

●韓国アサヒプリテック株式会社

貴金属リサイクル事業

電子産業、歯科関係など広範囲な分野から貴金属を回収し、現地工場でのリサイクルを行っています。

環境保全事業

耐火レンガなどの収集運搬および中間処理・リサイクルを行っています。

●エコマックス株式会社 (本社：神奈川県寒川町)

環境保全事業

焼却処理施設などから発生する燃え殻・煤塵や汚泥等をコンクリート固型化処理しています。

●株式会社三商 (本社：神奈川県横浜市)

環境保全事業

産業廃棄物・特別管理産業廃棄物の収集運搬を行っています。

●株式会社塩入建材 (本社：長野県長野市)

建築工事業

河川・道路・橋梁・トンネルなどの土木工事・上下水道工事および建築物解体工事の請負事業を行っています。

環境保全事業

特定建設資材廃棄物として指定されているコンクリート塊、金属くず、建設廃木材、掘削残土などを再資源化しています。

●株式会社イヨテック (本社：兵庫県明石市)

労働者派遣事業・業務請負事業

各種製造業への人材派遣、人材紹介および製造業務の請負を行っています。

●株式会社太陽化学 (本社：鹿児島県鹿児島市)

環境保全事業

1. 電子部品や写真分野などから排出される廃油・廃液を焼却・中和処理しています。
2. 病院などからの医療系感染性廃棄物を焼却処理しています。



ASAHI HOLDINGS

表紙のデザインと グループシンボルマークについて

スパイラルをモチーフにしたグループシンボルマークは、事業特徴である「循環による環境保全」を追求していくという企業姿勢や、継続性、成長性を意味しています。また、上下に伸びる矢印は、先進的で躍動的な企業であることを表現しています。青、赤、緑の3色はそれぞれが「清らかな水・空」、「人間が活動をしていくエネルギー」、「美しい自然や森」を象徴しています。本レポートの表紙と裏表紙は、このグループシンボルマークをもとにデザインしています。

将来見通しに関する注意事項

本レポートには、アサヒホールディングスグループの過去と現在の事実だけでなく、将来の計画や戦略など、将来見通しに関する記述が掲載されています。これらの将来見通しにはリスクや不確実性が内在しており、実際にはさまざまな要因によって記述とは大きく異なる結果が生じる可能性があります。読者の皆様には、以上をご了承いただきますようお願い申し上げます。